

1. 活動の概要

7月9日(金)、美郷町立邑智小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

はじめに、文化財課世界遺産室の職員から美郷町内の遺跡と校区の遺跡について話を聞きました。美郷町内には約 200 箇所の遺跡があり、小学校に隣接する邑智中学校の敷地でも遺跡が見つかったこと、美郷町内にある遺跡は川沿いに集落、高いところに古墳や山城、山間部で見られる製鉄遺跡(たたら)が多いことを学びました。中でも、美郷町乙原にある沖丈遺跡^{おきじょう}では多くの出土遺物や生活の痕跡である遺構が見つかったことを学びました。今回は沖丈遺跡で出土した本物の土器や石の矢じりなどの石器を触れて観察することができ、重さや感触、文様の有無を確かめていました。

また、縄文時代やそれ以前の石器時代のことや縄文時代の丸木舟のこと、石見銀山についても学習しました。

2. 活動の様子

1)美郷町の遺跡と出土品から当時の生活について知る



「美郷町には約200の遺跡があります。」



弥生土器の使い方を知らう。

2)本物の出土品に触れてみよう



土器には穴があいているぞ



ここにも文様がある！

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- 美郷町内に多くの遺跡があることがわかって驚いた
- 本物の土器や石器、銀に触れて良かった
- 土器に触った感覚やにおいが感じられた。
- 町内の遺跡に行ってみようと思った
- 山城の見分け方がわかった。
- 隠岐の島に歩いて行けたこと、黒曜石があることがわかって良かった。

2)担任の先生から…

- 土器などの文化的価値のあるものを実際に触れることができたことが良かった。
- ふるさとの歴史について知ることができたことが良かった。

3)世界遺産室から

コロナ対策を実施する中で子ども塾でしたが、学校や児童の対処もしっかりしており、問題なく終えることができました。児童の遺跡や出土品への興味関心が高く、休憩中にも土器や石器に触れて観察したり、質問する児童もいるなど積極的な姿勢が見られました。地元にも多くの遺跡があることを知ったことで自分たちの住む地域についてさらに興味を持ってもらえるとうれしいです。